

医学研究センター

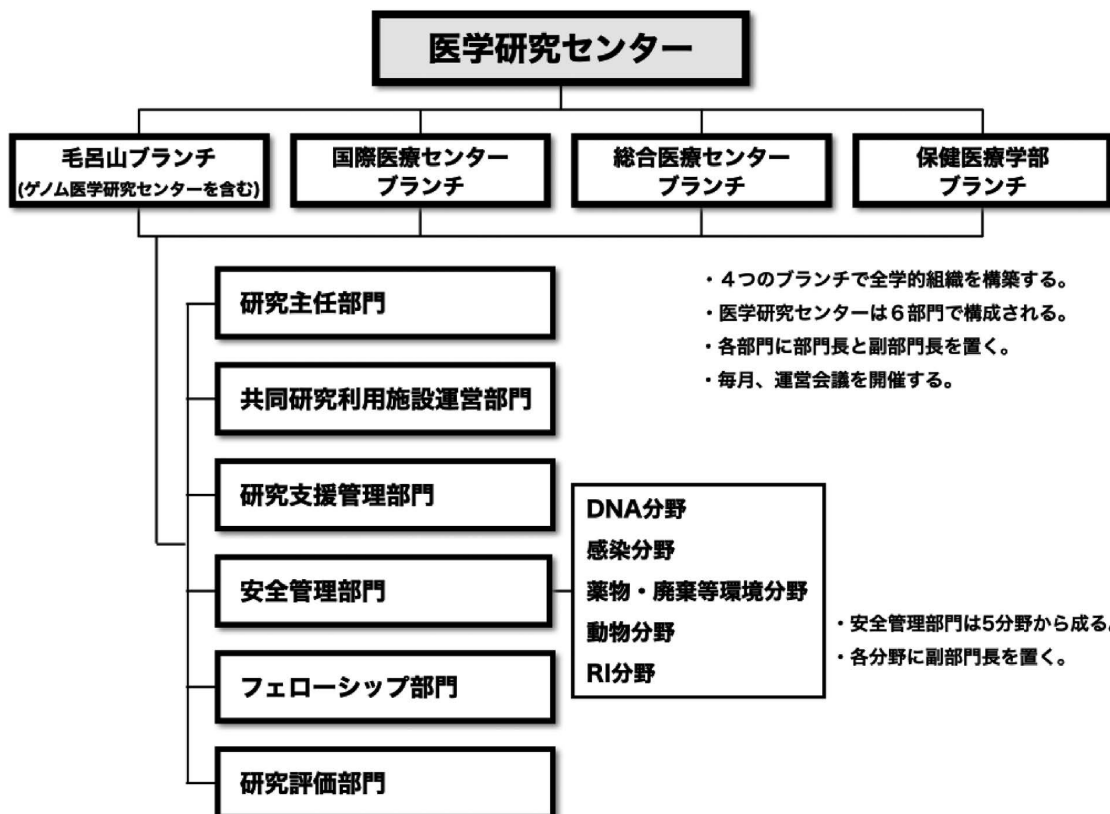
医学研究センター

片桐 岳信
(センター長)

医学研究センターは、埼玉医科大学医学研究センター規程に謳われているように、『本学の医学研究を円滑かつ効果的に行い、教育研究上の目的を達成するための基盤整備を図るとともに、当該研究活動に必要な企画立案、管理運営その他の研究支援を統括・推進し、もって本学の研究活動の質的向上及び研究成果の社会への還元に資すること』を目的として活動している。以下の6部門で構成され、それぞれの側面から本学全体の研究を支援している。

- 1) 研究主任部門：医学研究センターと各基本学科との情報共有に関わる。
- 2) 共同利用施設運営部門：各種共同利用施設の運営に関わる。
- 3) 研究支援管理部門：外部資金獲得の支援や学内グラントに関わる。
- 4) 安全管理部門：RI, DNA, 薬物, 環境, 動物, 感染など, 研究活動における安全管理に関わる。
- 5) フェローシップ部門：大学院生以上助手未満への経済的支援に関わる。
- 6) 研究評価部門：研究活動の内部評価や外部評価に関わる。

医学研究センターの構成員は、実際に研究に携わっている全キャンパス両学部部の教員から選出されている。センター長と各部門長・副部門長、各キャンパスのランチ長は、毎月、定例の運営会議を開催し、センター全体の情報を共有しながら研究活動を支援するために活動している。



2021（令和3）年度の医学研究センターの各部門は、主に以下のような活動に取り組んだ。

- ・研究主任部門は、毎年2回、学内グラント受賞者による研究発表会を主催している。令和3年度は、令和3年7月16日に第22回、令和4年3月25日に第23回学内グラント成果発表会を開催した。参加者の利便性を考え、両日とも3キャンパスの中継に加え、学内LANによるライブ配信を行った。
- ・共同利用施設運営部門は、本学が有する中央研究施設（毛呂山キャンパス、日高キャンパス）、研究部（川越キャンパス）における研究分野ごとの研究設備の整備、研究環境の改善、利用者の利便性、研究支援の向上、等について検討し、それぞれの施設の整備、運営に反映させている。また、共用実験スペースである「共同利用実験室」を管理・運営し、研究室を持たない者や、研究室の構築段階にある者の研究活動を支援している。今年度も、利用者登録を管理し、機器・備品の整備を行った。
- ・研究支援管理部門は、学外の競争的研究資金の獲得の支援、学内グラントの募集、審査会の開催、および管理、などを行っている。2020年度からリサーチアドミニストレーションセンターと協力し、文部科学省科研費の申請支援体制を強化している。特に、本学で研究代表者として科研費を獲得した回数が多いアドバイザーから、研究計画調書に対し採択に向けたコメントを受ける「科研費アドバイザー制度」を充実させた。この結果、今年度の科研費新規採択率は本学の過去最高を達成した。グラント選考委員会と協力し、令和3年度学内グラントの選考委員会を開催した。それぞれ、本学において長年行われたストーリー性のある研究を対象とした「丸木記念特別賞」1件、前年度の文科省科研費が不採択となった課題を対象とする「科研費申請支援」18件、学内グラントから科研費の採択を実現した「科研費採択奨励費」9件が選考された。
- ・安全管理部門では、本学における研究・教育・診療活動に必要な安全管理を行うことを業務とする。2021年度は、従来の薬物分野と廃液等環境分野を統合（薬物・廃液等環境分野）して、5つの分野としてそれぞれ活動した。1) DNA分野：組換えDNA実験を組換えDNA実験安全委員会と協力して行う、2) 感染分野：BSL2以上の病原性微生物や、それらが産生する毒物等の管理を病原性微生物等管理委員会と協力して行う、3) 薬物・廃液等環境分野：麻薬や向精神薬、農薬の管理、廃液及び廃棄試薬の管理を環境安全委員会と協力して行う、4) 動物分野：実験動物の管理を動物実験安全委員会と協力して行う、5) RI分野研究用の放射性同位元素をRI実験安全委員会と協力して管理する。
- ・フェローシップ部門は、「2022年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」の募集と選考を行なった。本奨学金応募者の利便性を高めるため、英語版募集要項の作成や、募集要項の早期の掲示などの改善に取り組んでいる。
- ・研究評価部門は、本学のすべての常勤研究者を対象に研究業績を登録した研究業績データベースを管理している。本研究業績データベースには、医学部と保健医療学部をあわせて1,421名の研究者が登録されている（令和4年3月）。本データを基に、国立研究開発法人科学技術振興機構が運用する「新世代研究基盤リサーチマップ（researchmap）」とデータ交換を行い、研究業績の公開、教員の研究と診療の専門性に関するデータベースの運用、大学病院の特定機能病院認定、国際医療センターのJCI受審等のための研究業績の集計・出力に活用している。登録されたデータは、人事考課において研究活動実績を数値化するために、提出書類に「研究ポイント」として記載している。2021年度からは、カテゴリA（論文、学会発表、獲得研究費など）とB（その他の研究支援活動など）に分けて集計することとした。